



スポ推よこすか

平成30年12月19日 発行

発行責任者 横須賀市スポーツ推進委員協議会会長 武 雅兄

第59回全国スポーツ推進委員研究協議会 鹿児島大会

11月15日(木)・16日(金)の両日、鹿児島県鹿児島市「鹿児島アリーナ」・「市民文化ホール」の両会場で開催されました。



鹿児島大会のテーマは「スポーツの力で輝く未来!!」サブテーマ～明治維新150周年スポーツに新たな風を鹿児島から～

多様な人々が、スポーツにおいて、強い絆で支え合うことのできる活力ある社会づくりを目指す上で、地域スポーツのリーダーであり、コーディネーターであるスポーツ推進委員はその役割を果たすことが求められ、そこで生涯スポーツの担い手でもあるスポーツ推進委員が果たすべき新たな役割や活動の方向性について研究協議を行うとの趣旨で開催されました。

歓迎アトラクション・開会式・表彰式・講演会・シンポジウム、4つの分科会など充実した研修内容でした。

講演では、アテネ五輪 女子800M自由形 金メダリストの柴田 亜衣氏による「水泳と私」のテーマで夢・目標の大切さを話されました。

水泳とのかかわりは、母親が泳ぐのが好きだったこ

とが始まりで、運よく近くにスイミングスクールがあったことや中学校や高校時代に全国上位に進めなかったものの、連日長距離を泳ぎ続け、大学に入り五輪を目指すことになったことなどを語られました。

「頑張っていれば必ず結果は出る、自分に限界を作らないでほしい」と日々の努力の大切さや、五輪を目指した過程で、「出られなかったらどうしようと考えても仕方ない。結果ではなく、今自分がやるべきことだけ意識して練習する。」と語られ、目の前の目標に集中することの重要性を話されました。

我々スポーツ推進委員として参考になる講演を拝聴させていただきました。

今後の活動に生かしていきたいと思います。

来年は、三重県津市で開催されます。皆様と共に全国のスポーツ推進委員大会の趣旨でもある資質の向上並びに懇親を深める意味でも多くの方の参加を期待します。

横須賀からは、次の方々が表彰されました。

文部科学大臣表彰；石川輝雄(森崎学区)

全国スポーツ推進委員連合会表彰（30年勤続）；矢込唯男（桜学区）・小泉幸男（汐入学区）・本田徹（城北学区）・矢須間隆（鴨居学区）

全国スポーツ推進委員連合会表彰（一般賛助会員）；山田昭子（元栗田学区）・武雅兄（馬堀学区）



記事・写真 副会長 石川 輝雄（森崎）

よこすかスポーツフェスタ 2018

「よこすかスポーツフェスタ2018」が10月8日(祝)に不入斗公園陸上競技場を始めとして体育館等、市内全域13会場で開催されました。

陸上競技場では新体カテストとして①握力②上体起こし③長座体前屈④反復横跳び⑤20m シャトルラン⑥立ち幅跳び⑦開眼片足立ち⑧10m 障害物歩行⑨6分間歩行⑩50m 走⑪ソフトボール投げ⑫ハンドボール投げ⑬100m 走⑭走り幅跳びなどが行われました。



参加者は年齢層に応じた種目を実施し、その計測値を基準値別得点表に照らして自らの得点を記録します。その合計点で総合評価A~Eが確定します。

昨年の記録を覚えていて今年の記録に満足せず再度トライする方や、上体起こし47回や反復横とび61回など、すばらしい記録を出す方もいました。年配の方が立派な記録を残される姿を見て我が身を反省する一日でもありました。



また、親子での参加も多く微笑ましいシーンも見られ、我々スタッフにとっても楽しい一日として過ごすことができました。



記事 広報部 井上 浩文(沢山)
写真 広報部 部長 鈴木 幸子(汐入)

西体育会館で行われたソフトバレーボール大会では、直前まで接近が懸念されていた台風も進路を変え、絶好のスポーツ日和のもと全31チーム(男子4、女子8、混合16、ファミリー3)が熱戦を繰り広げました。



全員で元気よくラジオ体操を行った後、真剣勝負あり、顔なじみ同士の和やかな試合あり、歓声と笑い声(時に怒号とタメ息)に包まれた楽しい一日を過ごすことができました。

特に、ファミリーの部に参加していた子供たちの一生懸命ボールを追う姿やポイントをとった時のガッツポーズにはとても癒され、元気を分けてもらいました。これからも彼らが楽しんでくれる大会を続けていきたい、と改めて感じました。

最後になりますが、ご参加いただいたチームの皆様、事前の準備・当日も朝早くから運営等にご尽力いただいた役員の皆様、ありがとうございました。

これからもスポーツで横須賀を盛り上げていきましょう!

記事 田中 達朗(浦郷)
写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

横須賀市・大和市・藤沢市
スポーツ推進委員 3市交流研修会

9月15日(土)、横須賀市南体育会館にて3市(横須賀、大和、藤沢)によるスポーツ推進委員交流研修会が開催されました。交流研修会は、平成21年から大和市と、平成23年からは藤沢市と、25年からは3市で行っています。



まず実技研修会の第1部としてニュースポーツ研修会を行いました。実技内容はソフトバレーボールとバウンスボールの2種目で、各市混成による18チームを作り、6ブロックに分かれてリーグ戦を行いました。各チームとも即席ながらチームワークよく、熱のこもった戦いを展開していました。第2部では花の国ウォーキングを行いました。あいにくの雨で一時強く降ることもあり、咲き誇っていたコスモスを十分に堪能できなかったのが残念です。長い坂道と第1部からの疲労もあり、皆様険しい表情となっていました。頂上のゴジラの滑り台を見て笑みを浮かべたり、携帯で写真を撮る場面が見られたので結果的には楽しんでいただけたようです。



実技研修会の後は、海辺の湯にて情報交換会です。実技の反省、各市のスポーツ推進委員の活動などの情報交換が活発に行われていました。また途中で第1部の結果発表を行いました。優勝チームが呼び上がる毎に大きな歓声と拍手が送られていました。景色があれば尚良かったかなと思いました。会の終盤には大和市の権藤さんを中心としたA-5チームによる「ピンクレンジャーダンス?」が披露され、場を大いに盛り上げてくれました。大和市の古市会長より、次回開催への意気込みを言われたところで、終了となりました。

記事 広報部 副部長 根岸 亨(北下浦)
写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

平成30年度横三ブロック研修会

10月27日(土)に横須賀・三浦ブロック研修会を逗子市立体育館サブアリーナにて、逗子市主催で行われました。

今回の実技研修はポッチャです。ポッチャとはパラリンピックの正式種目で、ジャックボールと呼ばれるボールに対して、各チームの持ち球(赤、青6球ずつ)を近づけて得点を競う競技です。イメージとしてはカーリングのストーンの代わりにボールを使用するようなものです。実際は細かなルールがありますが、短時間では取得が難しい為、今回はペナルティー無しとなりました。



A・B・C・Dの4ブロックに分け、4チーム毎のリーグ戦を行いました。見ているだけでは簡単そうに思えましたが、実際ボールを投げてみると力加減が難しく狙い通りにいかなかったり、不規則にバウンドしたりして、各チームとも悪戦苦闘の連続でした。



目的は試合を楽しむよりも運営する為の研修との位置付けでしたが、闘争心に火がついたのか白熱した試合が続き、タイブレーク決着が何試合かありました。逗子市ではポッチャを広めていく活動をしており、小学校でも教えているそうです。

私は今回初めてポッチャに触れ、健常者でも十分に楽しめる競技だと知りました。ルールを理解するにはもう少し体験が必要と感じました。このような機会があれば、また参加したいと思います。

記事 広報部 副部長 根岸 亨(北下浦)
写真 広報部 副部長 新堀 邦明(富士見)

平成 30 年度 神奈川県スポーツ推進委員研修会

平成 30 年度神奈川県スポーツ推進委員研修会が、平成 30 年 11 月 23 日（金：祝）に三浦市総合体育館で開催されました。

これは、神奈川県連合会研修部会が中心となって企画運営したもので、毎年 11 月 23 日に開催されています。今年の研修種目は、「ポッチャ」と「太極拳」でありました。



神奈川県全域のスポーツ推進委員 203 名が参加し、4～5 名で 1 つの班を作り、3 つの班で 1 グループを編成し、全体を 15 グループに分けました。

5 グループがかたまりとなってポッチャ⇒ポッチャ⇒太極拳と 3 つの会場を時間で移動しながら研修を受けました。

ポッチャは昨年寒川で開催された県研修会に引続き開催されました。また 10 月 27 日（土）に逗子市で開催された県横三ブロック研修会でも取り入れられた種目であり、少し慣れてきました。研修部会と逗子市のスポーツ推進委員が講師となって試合形式で研修が進められました。



太極拳の講師には、神奈川県武術太極拳連盟から鈴木氏と河村氏の 2 名が派遣されてきました。太極拳研修は 30～40 分の研修時間であり基本中の基本のみ体験しました。

肩幅に足を広げる時の足裏の位置は、肩の柔らかい部分の位置から垂直に降ろしたところになることや、人が立った時に一番安定する態勢は足の裏がふわふ

わした状態で立ち身体全体から力が抜けることであると指導されました。太極拳を習得することによって、体の内部から力が湧き出て想像以上の力が外に向かって放たれることなどを教わりました。



今は健康面でも優れたスポーツであると紹介がありました。

普通の研修では 3 時間で行うそうですが、今回は時間が短く型の指導がなかったのが残念でした。

記事 副会長 鈴木 貞男（大楠）

写真 副会長 石川 輝雄（森崎）

三浦半島県下駅伝競走大会 休止のお知らせ

毎年行われていました、三浦半島県下駅伝競走大会開催休止との報告が横須賀市からありました。

平成 29 年には 71 回を数える歴史ある大会ですが、大会コース全般にわたる車両交通量の増加が顕著であることに對し、本大会を共に主催する横須賀市陸上競技協会と、安全対策について検討を重ねましたが、万全の安全体制を構築することは、現状では困難との結論に至り道路事情が改善され、安全が確保されるまで、開催を休止すると報告がありました。

スポーツ推進委員の方々には感謝申し上げます、ご理解いただきたく存じます。

編集後記

今年は天候の不安定な秋だったような気がします。しかし「天高く馬肥ゆる秋」という言葉に相応しい日もありました、各学区の運動会・スポーツフェスタ、皆さん楽しまれたでしょうか？冬に向かっては冬のスポーツがありますが、上記記事に掲載した三浦半島県下駅伝競走大会の休止は残念ですね、また復活してもらいたい限りです。

広報部 部長 鈴木 幸子（汐入）
ホームページ <http://sukataishi.jp>